

# 2023年3月期 第1四半期決算 説明資料

2022年7月29日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 連結決算

### 増収増益、3期ぶりの黒字転換

- コロナ影響の反動により全てのセグメントで増収となり、営業収益は2期連続の増収
- 第1四半期決算として、3期ぶりに全ての利益が黒字転換

## セグメント

### 全てのセグメントが増収増益

- 運輸事業は、鉄道運輸収入の増に加え、Suicaに係る負債の収益計上時期を変更したことなどにより、**増収増益**
- 流通・サービス事業は、エキナカ店舗の売上が増加したことなどにより、**増収増益**
- 不動産・ホテル事業は、ホテルやショッピングセンターの売上が増加したことなどにより、**増収増益**
- その他は、クレジットカード事業の売上が増加したことなどにより、**増収増益**

### ○2023年3月期の業績予想

連結業績見通しについては、当第1四半期決算等を踏まえ検討した結果、2022年4月27日発表の第2四半期連結累計期間および通期の予想から変更いたしません。

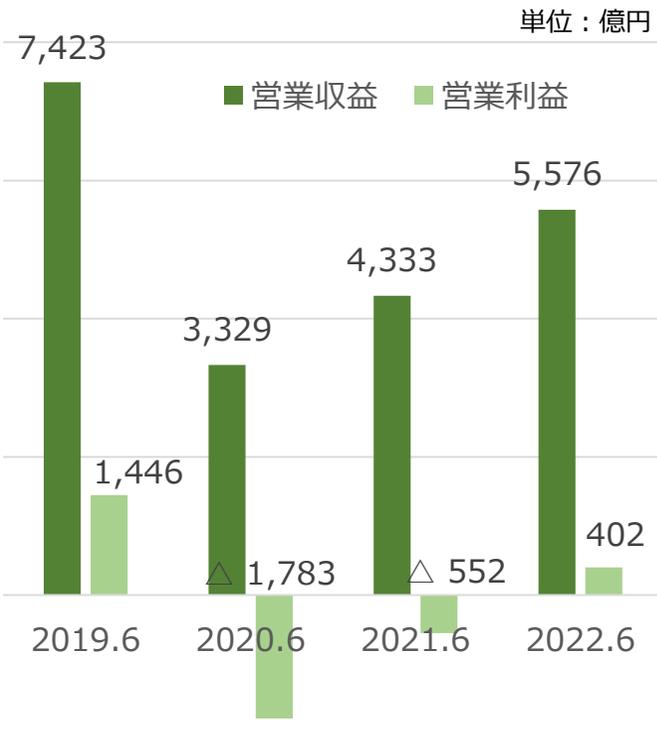
### ○株主還元状況（配当状況）

2023年3月期（予想） 中間配当（1株当たり）50円 期末配当（1株当たり）50円

# 第1四半期累計業績推移

## 連結決算

コロナ影響を大きく受けた2020.6から段階的に回復し2期連続の増収、3期ぶりの黒字



## 運輸事業

鉄道利用の回復により2期連続の増収、3期ぶりの黒字



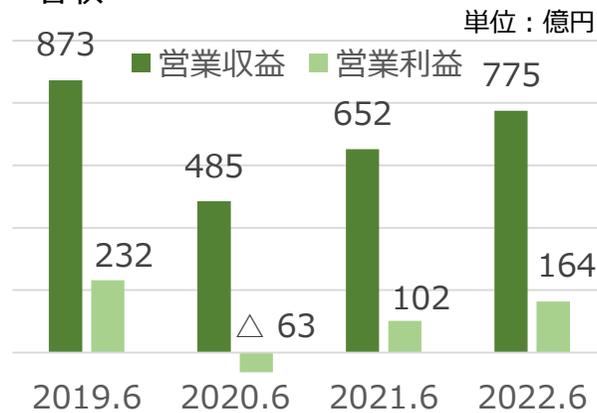
## 流通・サービス事業

エキナカ利用の回復により2期連続の増収、3期ぶりの黒字



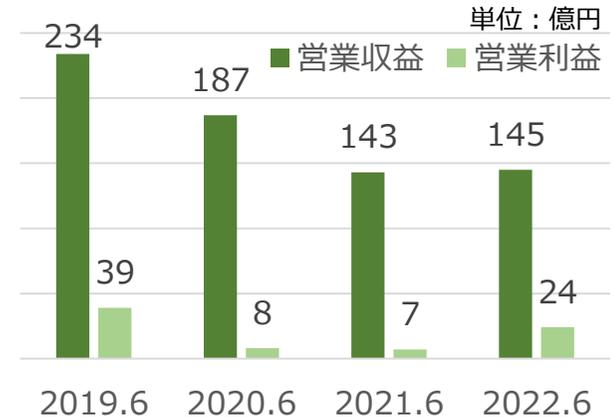
## 不動産・ホテル事業

ホテル、SCの利用の回復により2期連続の増収



## その他

クレジットカード利用の回復により増収



- ※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高
- ※ 2021.6以降は収益認識会計基準適用
- ※ 2020.6以降はJR広告業のセグメントを運輸事業から流通・サービス事業に変更

## 鉄道運輸収入の実績と今後の見通し：コロナ前との比較

### ■ 定期収入

第1四半期実績：約77%

計画：コロナ前の約75%の水準で推移

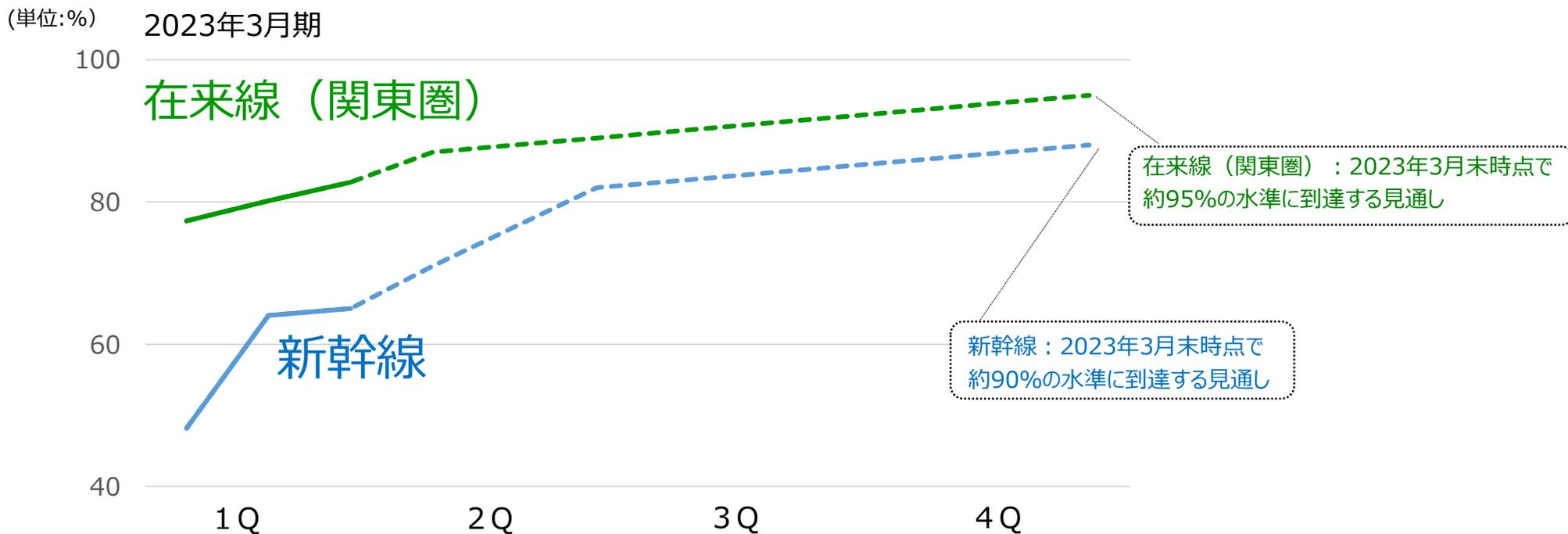
### ■ 定期外収入

第1四半期実績：在来線（関東圏）約79% 新幹線 約59%

計画（特殊要素を除く）

在来線（関東圏）：2023年3月末時点で約95%の水準に到達する見通し

新幹線：2023年3月末時点で約90%の水準に到達する見通し



# 連結 損益計算書

(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		主な増減事由
			増減	%	
営業収益	4,333	5,576	+1,242	128.7	
運輸	2,903	3,913	+1,010	134.8	鉄道運輸収入の増、Suica負債の収益計上時期変更
流通・サービス	634	741	+106	116.8	エキナカ店舗の売上の増
不動産・ホテル	652	775	+122	118.8	ホテルやショッピングセンターの売上の増
その他	143	145	+2	101.8	クレジットカード事業の売上の増
営業利益	△552	402	+955	-	
運輸	△664	156	+820	-	
流通・サービス	△0	50	+50	-	
不動産・ホテル	102	164	+61	160.2	
その他	7	24	+16	317.4	
調整額	1	7	+5	478.0	
営業外損益	△101	△143	△41	140.9	持分法投資損益の減
営業外収益	83	54	△29	65.0	
営業外費用	185	197	+12	106.7	
経常利益	△654	259	+913	-	
特別損益	△2	2	+5	-	
特別利益	29	142	+113	484.3	工事負担金等受入額の増
特別損失	32	140	+107	433.3	工事負担金等圧縮額の増
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△769	189	+958	-	

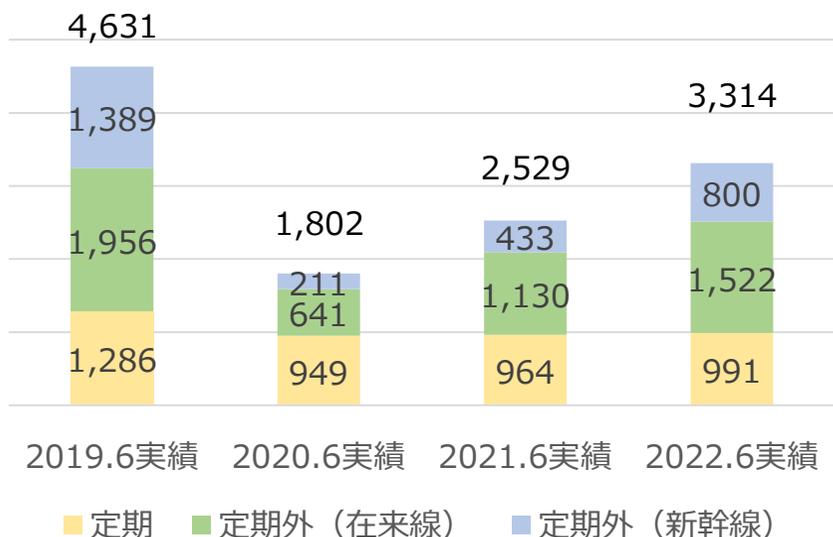
※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益	2,903	3,913	+1,010	134.8	12,770	16,750	+3,979	131.2
営業利益	△664	156	+820	-	△2,853	100	+2,953	-

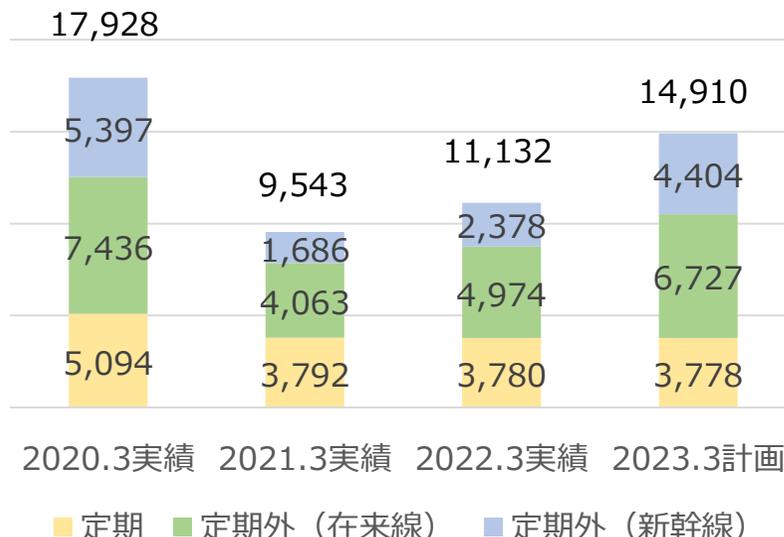
2022.6 営業収益（外部）の増減	
JR東日本（運輸）	+1,021
びゅうツーリズム&セールス	+12
ジェイアールバス関東	+6
総合車両製作所	△51

鉄道事業	鉄道回復により対前年で増収、運輸収入はコロナ前比で約70%の水準
車両製造事業	公民鉄向け車両売上の減により対前年で減収
バス事業	高速バス回復により対前年で増収、高速線収入はコロナ前比で約50%の水準
モルール事業	利用回復により対前年で増収、運賃収入はコロナ前比で約50%の水準

## ■ 鉄道運輸収入 第1四半期実績



## ■ 鉄道運輸収入 通期実績と計画



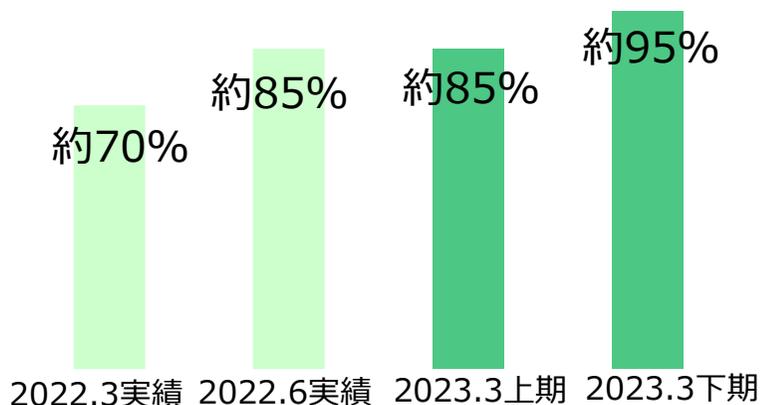
(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益	634	741	+106	116.8	2,781	3,530	+748	126.9
営業利益	△0	50	+50	-	141	500	+358	354.2

2022.6 営業収益（外部）の増減	
JR東日本クロスステーション	+97
JR東日本スポーツ	+7
JR東日本東北総合サービス	+6
ジェイアール東日本企画	+3

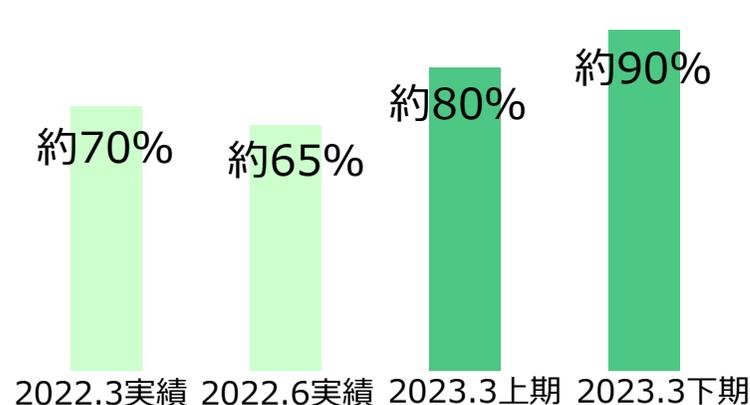
エキナカ事業	鉄道利用の回復に伴うエキナカ店舗の売上増により対前年で増収
広告事業	交通広告は前年度までは減収傾向であったが、今年度は対前年で増収

## ■ 収入の見通し前提：コロナ前との比較

エキナカ事業



広告事業



# 不動産・ホテル事業

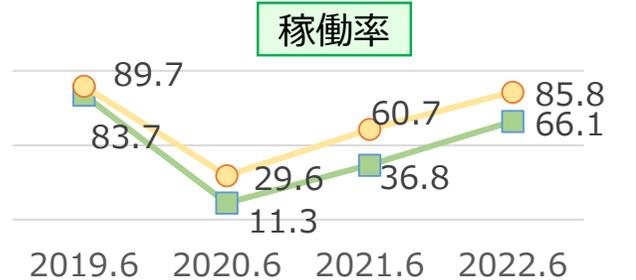
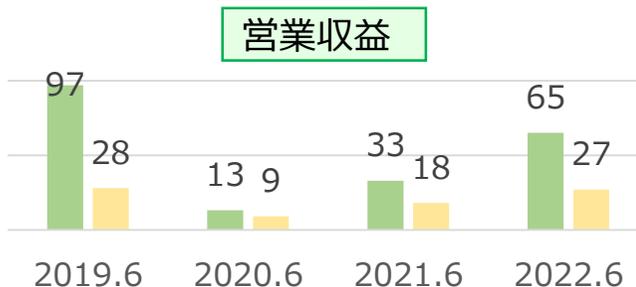
(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6	
			増減	%
営業収益	652	775	+122	118.8
営業利益	102	164	+61	160.2

2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
		増減	%
3,526	3,530	+3	100.1
1,078	800	△278	74.2

2022.6 営業収益（外部）の増減	
日本ホテル	+37
ルミネ	+37
仙台ターミナルビル	+11
JR東日本ビルディング	△4

ショッピングセンター事業	駅ビルの売上が増加したことにより対前年で増収
オフィス事業	一部テナント変更により対前年で減収
ホテル事業	ホテル利用増により対前年で増収 参考：ホテル事業実績※（2022.6） 営業収益 117億円、営業利益 △15億円

ホテルチェーン別実績  
■ メトロポリタンホテルズ  
■ JR東日本ホテルメッツ



## ■ 収入の見通し前提：コロナ前との比較

※各社のホテル事業の単純合計

ショッピングセンター事業

オフィス事業

ホテル事業



(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3	
			増減	%			増減	%
営業収益	143	145	+2	101.8	710	720	+9	101.3
営業利益	7	24	+16	317.4	116	150	+33	128.8

2022.6 営業収益（外部）の増減	
ビューカード	+14
JR東日本メカトロニクス	+5
日本コンサルタンツ	△10

IT・Suica事業	クレジット：カード取扱高の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 電子マネー：電子マネー決済件数の増により加盟店手数料収入が対前年で増収 ICカード関連：決済端末の販売増により対前年で増収
その他 (情報システム関連)	システム受託収入の増により対前年で増収

(参考) IT・Suica事業の実績 (2022.6)

営業収益	105億円
営業利益	17億円

## ■ 収入の見通し前提：コロナ前との比較

### クレジットカード事業

通年でコロナ前と同程度で推移する見通し

### Suica電子マネー利用（件数）

通年でコロナ前の約130%程度で推移する見通し

# 連結 貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.6 実績	2022.6/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	90,914	90,812	△101	99.9	
流動資産	9,070	9,465	+395	104.4	
固定資産	81,844	81,346	△497	99.4	
負債	66,733	66,604	△128	99.8	
流動負債	16,885	15,856	△1,029	93.9	未払金の減
固定負債	49,847	50,748	+901	101.8	社債の増
純資産合計	24,181	24,207	+26	100.1	
負債・純資産合計	90,914	90,812	△101	99.9	

## (参考) 単体貸借対照表

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.6 実績	2022.6/2022.3		主な増減事由
			増減	%	
資産	83,349	83,353	+3	100.0	
流動資産	6,698	7,191	+493	107.4	
固定資産	76,651	76,161	△490	99.4	
負債	64,628	64,527	△100	99.8	
流動負債	16,375	15,396	△979	94.0	未払金の減
固定負債	48,252	49,131	+878	101.8	社債の増
純資産合計	18,721	18,825	+103	100.6	
負債・純資産合計	83,349	83,353	+3	100.0	

# 連結 有利子負債、設備投資額、主要諸元

## 連結有利子負債

(単位：億円)	2022.3 実績	2022.6 実績	2022.6/2022.3		平均金利 (対2022.3)	
			増減	%		
有利子負債残高	47,037	48,862	+1,825	103.9	1.28%	(△0.03%)
社債	25,426	26,754	+1,327	105.2	1.13%	(△0.01%)
長期借入金	14,514	14,314	△200	98.6	0.82%	(△0.00%)
鉄道施設購入長期未払金	3,188	3,188	-	100.0	6.54%	( - )
その他有利子負債	3,907	4,605	+697	117.9	△0.01%	(△0.01%)
ネット有利子負債残高	45,327	46,692	+1,365	103.0		

## 連結設備投資額

(単位：億円)	セグメント区分	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		2023.3 計画	2023.3/2022.3	
				増減	%		増減	%
輸送サービス	運輸事業	512	394	△117	77.0	4,220	+693	119.7
生活サービス IT・Suicaサービス	流通・サービス事業 不動産・ホテル事業、その他	485	244	△241	50.3	2,120	+446	126.7
合計		997	638	△359	64.0	6,340	+1,139	121.9

## 連結主要諸元

	単位	2021.6 実績	2022.3 実績	2022.6 実績	増減 (対2021.6)
総資産営業利益率 (ROA)	%	△0.6	△1.7	0.4	+1.1
自己資本当期純利益率 (ROE)	%	△3.1	△3.9	0.8	+3.9
ネット有利子負債/EBITDA	倍	113.9	19.0	34.5	△79.5

※ EBITDAは営業利益と減価償却費の合計

# 連結 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	19,789	24,530	+4,740	124.0	
運輸	12,770	16,750	+3,979	131.2	[+]鉄道運輸収入
流通・サービス	2,781	3,530	+748	126.9	[+]広告事業、[+]エキナカ事業
不動産・ホテル	3,526	3,530	+3	100.1	[+]ショッピングセンター事業、[+]ホテル事業
その他	710	720	+9	101.3	[+]Suica電子マネー収入
営業利益	△1,539	1,530	+3,069	-	
運輸	△2,853	100	+2,953	-	
流通・サービス	141	500	+358	354.2	
不動産・ホテル	1,078	800	△278	74.2	[△]不動産販売事業
その他	116	150	+33	128.8	
営業外損益	△255	△550	△294	215.2	
営業外収益	442				
営業外費用	698				
経常利益	△1,795	980	+2,775	-	
特別損益	△10	△100	△89	999.3	
特別利益	641				
特別損失	651				
親会社株主に帰属する 当期純利益	△949	600	+1,549	-	

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

# 参考

# 単体 損益計算書

(単位：億円)	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		主な増減要素
			増減	%	
営業収益	3,089	4,132	+1,043	133.8	
運輸収入	2,529	3,314	+784	131.0	
その他の収入	559	818	+258	146.3	Suicaに係る負債の収益計上時期変更による増
営業費用	3,549	3,786	+237	106.7	
人件費	879	999	+120	113.7	賞与関係の増
物件費	1,374	1,479	+104	107.6	
動力費	112	153	+41	136.7	燃料単価高騰による増
修繕費	445	440	△4	99.0	
その他	817	884	+67	108.2	部外委託関係の増
機構借損料等	211	210	△1	99.5	
租税公課	287	307	+19	106.8	
減価償却費	795	789	△5	99.3	
営業利益	△459	346	+805	-	
営業外損益	80	△30	△110	-	受取配当金の減
経常利益	△379	315	+695	-	
特別損益	△5	5	+11	-	
四半期純利益	△507	281	+788	-	

# 旅客輸送量・鉄道運輸収入 実績

	旅客輸送量（百万人キ口）				鉄道運輸収入（億円）			
	2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6		2021.6 実績	2022.6 実績	2022.6/2021.6	
			増減	%			増減	%
新幹線	1,986	3,291	+1,304	165.7	486	852	+366	175.5
定期	377	389	+11	103.0	52	52	+0	101.2
定期外	1,608	2,902	+1,293	180.4	433	800	+366	184.4
在来線	19,962	22,517	+2,555	112.8	2,043	2,461	+417	120.4
定期	14,109	14,614	+505	103.6	912	938	+26	102.9
定期外	5,852	7,902	+2,050	135.0	1,130	1,522	+391	134.6
関東圏	19,000	21,394	+2,394	112.6	1,948	2,335	+386	119.8
定期	13,420	13,914	+493	103.7	871	897	+25	102.9
定期外	5,579	7,480	+1,900	134.1	1,077	1,438	+361	133.5
その他	962	1,123	+161	116.8	94	125	+30	132.5
定期	689	700	+11	101.7	41	41	+0	101.3
定期外	273	422	+149	154.9	53	83	+30	156.4
合計	21,948	25,809	+3,860	117.6	2,529	3,314	+784	131.0
定期	14,487	15,003	+516	103.6	964	991	+26	102.8
定期外	7,461	10,805	+3,343	144.8	1,564	2,322	+757	148.4

※ 「関東圏」とは、当社東京支社、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

# 単体 通期計画

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		対2022.3実績 主な増減要素
			増減	%	
営業収益	14,241	17,940	+3,698	126.0	
運輸収入	11,132	14,910	+3,777	133.9	
その他の収入	3,109	3,030	△79	97.5	[△]不動産販売収入
営業費用	15,737	16,940	+1,202	107.6	
人件費	3,693	3,860	+166	104.5	[+]賞与戻入差
物件費	6,913	7,810	+896	113.0	
動力費	614	740	+125	120.5	[+]燃料単価増
修繕費	2,454	2,670	+215	108.8	[+]一般修繕費、[+]車両修繕費
その他	3,844	4,400	+555	114.5	[+]情報処理費、[+]収入連動経費
機構借損料等	847	850	+2	100.3	
租税公課	988	1,070	+81	108.2	
減価償却費	3,294	3,350	+55	101.7	[+]資産取得による増
営業利益	△1,495	1,000	+2,495	-	
営業外損益	△281	△490	△208	174.2	
経常利益	△1,777	510	+2,287	-	
特別損益	△160	20	+180	-	
当期純利益	△991	410	+1,401	-	

# 旅客輸送量・鉄道運輸収入 計画

		旅客輸送量（百万人キ口）				鉄道運輸収入（億円）				
		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		2022.3 実績	2023.3 計画	2023.3/2022.3		
				増減	%			増減	%	
新幹線		10,384	18,262	+7,878	175.9	2,580	4,607	+2,026	178.5	
	定期	1,473	1,507	+34	102.3	202	202	△0	100.0	
	定期外	8,910	16,754	+7,843	188.0	2,378	4,404	+2,026	185.2	
在来線		80,866	90,726	+9,859	112.2	8,551	10,302	+1,751	120.5	
	定期	54,705	55,567	+861	101.6	3,577	3,575	△1	100.0	
	定期外	26,160	35,158	+8,998	134.4	4,974	6,727	+1,753	135.2	
	関東圏		76,783	85,893	+9,110	111.9	8,120	9,729	+1,608	119.8
		定期	52,049	52,871	+821	101.6	3,417	3,415	△1	100.0
		定期外	24,733	33,022	+8,289	133.5	4,703	6,313	+1,609	134.2
	その他		4,083	4,832	+749	118.3	430	573	+143	133.3
		定期	2,655	2,696	+40	101.5	160	160	△0	100.0
		定期外	1,427	2,136	+709	149.7	270	413	+143	153.1
合計		91,250	108,988	+17,738	119.4	11,132	14,910	+3,778	133.9	
	定期	56,179	57,074	+895	101.6	3,780	3,778	△1	100.0	
	定期外	35,071	51,913	+16,842	148.0	7,352	11,131	+3,779	151.4	

※ 「関東圏」とは、当社東京支社、横浜支社、八王子支社、大宮支社、高崎支社、水戸支社および千葉支社管内の範囲

# 2026年3月期 数値目標

(単位：億円)	2022.3 実績	2023.3 計画	2026.3 数値目標	2026.3/2022.3	
				増減	%
営業収益	19,789	24,530	30,900	+11,110	156.1
運輸	12,770	16,750	19,700	+6,929	154.3
流通・サービス	2,781	3,530	5,500	+2,718	197.7
不動産・ホテル	3,526	3,530	4,800	+1,273	136.1
その他	710	720	900	+189	126.6
営業利益	△1,539	1,530	4,500	+6,039	-
運輸	△2,853	100	2,520	+5,373	-
流通・サービス	141	500	570	+428	403.8
不動産・ホテル	1,078	800	1,130	+51	104.8
その他	116	150	300	+183	257.7
調整額	△21	△20	△20	+1	92.7

※ 営業収益のセグメント別内訳は外部顧客への売上高

	2022.3 実績	2026.3 数値目標
営業キャッシュ・フロー	1,905億円	5年間（2022.3～2026.3）総額 36,930億円
総資産営業利益率（ROA）	△1.7%	4.5%程度
ネット有利子負債／EBITDA	19.0倍	5倍以下